

令和3年6月
多摩市企画課

第七期自治推進委員会答申（令和3年10月） 骨子（案）

第1章 新たな地域社会のしくみの必要性

1 背景

- (1) 増大・複雑化する地域課題と将来訪れる危機
- (2) 多摩市や国におけるこれまでの議論

2 これまでの地域社会のしくみ・体制

- (1) 地域の現状と課題
- (2) 住民意識調査における市民の認識
- (3) その他考慮すべき社会経済環境の変化

第2章 多摩市の目指すこれからの地域社会の在り方とは

1 多摩市の目指す持続的な地域社会と、その実現に向けて検討すべき点

- (1) これからの地域社会が目指すべき姿
- (2) 目指す姿の実現に向けた考え方（手段）
- (3) 「地域協創」の実現に向けて取り組むべき事項

2 多摩市が目指す地域社会で実現すべき3つの柱

- (1) 地域の中を「つなぐ」機能
- (2) 地域を「支える」機能
- (3) 地域の中で「掘り起こす」機能

第3章 検討状況

1 これまでの検討経過及び今後の検討予定

2 地域の中を「つなぐ」：多様な主体が参画できる場・機能（プラットフォーム）の構築

- (1) プラットフォームとは
- (2) プラットフォームと行政はどう関わるのか

3 地域を「支える」

- (1) 地域担当職員

4 地域の中で「掘り起こす」

第4章 モデルエリアでの実践

1 東寺方小学区エリア（令和2年度から）

2 諏訪中学区エリア（令和2年度から）

3 青陵中学区エリア（令和3年度から）

4 ○○学区エリア（令和3年度から）

第5章 今後審議すべき事項

1 自治基本条例等例規改正・他事業との関連

2 各エリアでそれぞれ特性に合わせて運用できることを考慮のうえで検討

3 庁内・庁外（地域等）からの意見

巻末 参考資料